

しもにたしんりん

第3号



上小坂地内保安林リフレッシュ事業（枝打作業）

主 な 内 容

- 群馬県森林組合指導方針決まる……………2
- 全国森林組合代表者大会……………3
- 理事会報告……………4
- 労働安全大会……………5



群馬県森林組合指導方針決まる

群馬県森林組合強化育成検討委員会

この委員会は平成十三年六月に林業基本法が三十七年ぶりに改正され「森林・林業基本法」制定施行された。ことに伴い「森林組合活動二十一世紀ビジョン」の実行計画として「森林組合改革プラン」を策定することとなり、これらを踏まえて平成十四年度より群馬県林務部が座長に西野寿章・高崎経済大学教授を迎え県内の林業関係者の十六名（当組合長神戸金貴）を委員に任命し十回の会議を行い具体的な方針がまとまりましたのでご紹介いたします。

一、森林組合指導の基本的な考え方

平成十三年三月に策定した「二十一世紀のプラン」に掲げる五つの目標のうち、県民の「いのちを守る」ために健全な森林の維持造成に努め、「誰もが能力を発揮して働く」職場環境を整備し、ふるさとの産業を育てる「組織としての育成を目指して行くものとする」。

また、群馬県の森林を健全なカタチで次代に引き継いでゆくため、平成十四年三月に策定した「森林政策ビジョン」においては現在の森林を理想の森林に近づけていくための施策方向として、「理想の森林を支える仕組みの構築に向けて」取り組みることとしている。そして森林組合は、この「理想の森林」を維持・管理していくための「森林管

理の担い手」として位置付け、森林組合の育成強化を図っていくものである。

イ、今後の森林組合を育成する方向として、組合員、森林所有者のための森林組合という視点から組合活動を展開し、組合員・県民から信頼される森林組合の育成を目指す。

ロ、地域の森林整備の中核的担い手として、地域の森林施業や管理に関する活動を適正かつ効率的に行うことのできる森林組合の育成を目指す。

ハ、県内のすべての森林組合が、各地域の森林資源の状況に応じて、森林造成から素材生産に至るまでの一連の林業生産活動を実行できる体制の整備を目指す。

ニ、林業生産活動のほか、木を売るために原木市場、小径木加工、製材、粉炭の製造など加工事業に取り組んでいる森林組合及び連合会の事業を今後とも維持継続していくことが出来るよう、連合会を中心とした系統全体の協力的体制の構築に努める。

ホ、森林組合を取り巻く厳しい経営環境のもと、他の民間事業者との競争にも対応しうる健全な自立的経営の確立を目指して、早急に合併等による森林組合の経営基盤の強化と業務執行体制の充実強化に取り組みすることとする。

二 具体的方法

イ、健全な財務基盤と的確な経営判断等に基づいた安定的かつ効率的な事業運営により、厳しい経営環境下においても一定の事業利益を確保しつつ、森林所有者の負託に応えうる自立的経営を実現できる森林組合を中核組合として位置付け、その健全な発展に努める。

ロ、組合経営の効率性と継続性、事業規模、地理的状況等総合的に勘案し、県内に七つの行政事務所森林部の管轄区域ごとに一森林組合とする県内七組合体制を目指し、積極的な合併の推進に取り組みものとする。

ハ、連合会は、森林組合との役割分担のあり方を勘案しつつ、健全な自立的経営に向けて、指導事業、監査事業の更なる強化を図るとともに、系統組織あげて木材供給体制の整備をしていくものとする。

ニ、この方針に基づき県内の森林組合の改革を実現していくには意識改革と行動改革の実践、系統組織の連携、人材の育成、情報の提供と開示、そして効率的な事業の実施を進めていくものとする。

ホ、この指導方針は、平成十五年度から平成十七年度までの三カ年を期間として取り組みこととする。

平成十四年度 全国森林組合代表者大会

森林組合改革プラン決議

全国森林組合連合会では平成十四年十一月二十二日九段会館（東京）において全国森林組合代表者大会が開催された。大会は本県出身の飯塚昌男全森連会長の挨拶で始まり森林組合改革を進める二十一世紀の地域森林管理体制づくりを目指し「森林組合改革プラン」など三つの政策課題実現を期して系統を挙げて邁進することを決議された。又 同大会の席上で功労者表彰として作業班長 東間高雄氏が受賞した。



大会決議文

国産材需要の減退と価格低迷が恒常化している中で、昨今の国産材丸太価格の暴落により国内林業は崩壊的な打撃を受けている。林業採算性は破綻し、林業投資の減退、林業就業者の減少、不在村森林所有者の増加により、放置林の増加と森林荒廃が山村地域において社会問題化するに至っている。一方、政府は昨年の森林、林業基本法において、森林の多目的機能の持続的発揮を宣言

するとともに、地球温暖化対策として温室効果ガス削減目標の三・九％国内森林経営による吸収に求めている。

ここにわれわれは、森林管理体制の確立と地域材需要創出を目指す「森林組合二十一世紀ビジョン」を実現のものとすべく、森林組合改革への取り組みを決議するとともに、左記政策課題の実現を期して系統挙げて邁進せんとするものである。

記

- 一、森林組合改革プランの策定と改革の実践
 - 二、地球温暖化防止のための森林整備推進「緑の雇用」創出
 - 三、国産材の需要拡大と循環型社会の構築
- 以上決議する。

森林施業計画及び、交付金事業についてお知らせ

地区参与員さんを中心に、昨年八月より地区説明会を開催し、五力年分の森林施業計画を作成し認定されました。内容は、団地数六三団地、面積約六、八〇〇ヘクタール、交付金額約二千万円でした。今後、所有森林の確認と計画内容等、森林所有者と協力しながら施業計画の見直しをさせていただきます。

持続可能な林業と理想の森づくりをめざして 公開シンポジウムに 神戸金貴組合長。パネラー

高崎経済大学付属産業研究所 主催

平成十四年十一月二十二日に高崎経済大学付属産業研究所（武井昭所長）主催により「持続可能な林業と理想の森づくりをめざして」をテーマに群馬県民会館で公開シンポジウムを開いた。

基調講演は愛知大学文学部教授、藤田佳久氏「林業は四十年前に輸入自由化されたが政策が弱かった」と指摘。パネルディスカッションでは神戸金貴組合長、藤田佳久教授、群馬県林業公社大松稔理事、多野東部森林組合白松尾野里子さん、倉瀬村市川平治村長、建築舎四季小池健史氏がパネラーとなり、神戸組合長はこの中で

①植林の成果を現在の木材価格のみで評価するのではなく、森林としての公益的機能を何らかの形で評価しないと志を持った若者が参入出来ない。結果として国土の荒廃をまねいている。

②林業を構築する土台がハッキリ見えるような五〇年一〇〇年視野の国策を示して欲しい。の二点を指摘した。

今後、林業を産業として成立させるための付加価値づくり、担い手育成、不在村森林所有者の管理の問題等活発な発言があった。



祝

石淵貯木センター
開設一周年記念

平成十四年十一月二十日午前十時より石淵貯木センター管理棟において製材業者、地権者、森林組合役員、下仁田町、富岡行政事務所等の来賓八十二名の出席をいただき神戸代表理事組合長の挨拶で始まり式典が開催された。

同センターは昨年十一月に下仁田町の玄関口の馬山石淵地内に一〇〇〇平方メートルの貯木センターを開設し最新式の原木選別機等を導入した施設で開所以来入札を月二回実施して一カ年の取扱量は約八〇〇〇m³販売することが出来ました又表彰行事では左記のとおりご協力いただいた方々に感謝状の贈呈をしました。

〔出荷者〕

鐺川東部森林組合、碓氷川森林組合、岡部林業開発有限会社、小井土林業、須賀芳明様

〔製材業者〕

永井製材株式会社、マルサン木材、有限会社
岩田製材所、株式会社山昭、小井土製材株式会社



一周年記念の挨拶する神戸組合理長

群馬県知事賞受賞

第二十三回群馬県優良素材展示会出展

平成十四年十二月三日、群馬県主催による恒例の「第二十三回群馬県優良素材展示会」が県森連共販所にて開催され県内の優良材が三十六点出品された。

下仁田町森林組合も三点出品し厳正な審査の結果最優秀賞の群馬県知事賞（スギ 三・六五m）優秀賞の関東森林管理局長賞（スギ 四・〇〇m）の二点が上位の賞に入りました。

理事会報告

新年の一月二十一日下仁田町林業総合センター会議室において、二時より第六回理事会が神戸組合理長の新年の挨拶に続いて開催された。理事一六名の内出席理事十四名、欠席理事二名、出席監事三名の出席をいただき全八号議案について慎重審議されましたので報告いたします。

議案内容は左記のとおり

第一号議案 職員給与規程一部改正について

職員給与の引き下げ及び扶養手当の引き上げ

第二号議案 森林組合改革プランの策定と改革について

改革プランの実行計画の策定と実行期間（平成十五年～平成十七年）

第三号議案

機械保管倉庫処分変更について
吉崎貯木場移転に伴う機械保管倉庫処分について国等に補助金を返還する。

第四号議案

平成十四年度水土保全森林緊急間伐対策事業高性能機械導入について
移動型簡易集材機タワーヤーダー一台購入

第五号議案

森林整備地域支援交付金及び施設計画進捗状況について
申込を取り参加する森林所有者に地区説明会を行い目標数量達成に努力している。

第六号議案及び第七号議案

下仁田町スギ材利用道の駆建設用伐出作業道開設事業について

第八号議案

石淵貯木センター所長雇用継続について
センター所長が定年退職するがセンターを開設して一年二ヶ月の為一年間継続雇用する



議案説明する島崎総務課長

平成十五年 労働安全大会

平成十五年一月十七日に、労働安全大会が開催されました。

林業労働災害が減らない現状を踏まえ、問題点と対策について小井土指導課長を中心として、従業員全員で話し合われた。内容は、災害の要因になっていることで、「やってはいけない処理方法」「今までこの方法でやってきたのだから」「この程度は大丈夫」「面倒くさい」などがあげられた。

また、新人教育として経験年数二年以下の作業員全員に、作業手順の周知徹底を図り、安全な職場環境を推進することで、若者たちの就労も増え、魅力ある職場の発展につながるよう「ゼロ災」を目標に話された。

続いて、心理カウンセラー・企業コンサルタントの大橋先生より、「現代社会において生き残れる企業、発展させていける企業」であるための組織作りに対する取り組みについて、職場環境作りの中で人材管理上の提案として、ピア・カウンセリング（仲間同士で聞く、話す）の重要性、精神的管理として、一人一人が自分を知り、相手を知り、信頼の元にしっかり仕事に取り組めるためのアドバイスをいただいた。

また、群馬県林政課の松本喜久男氏より「森林・林業をめぐる情勢の変化」「森林組合の動向 今後の取り組み課題」について講演されました。



組合の取り組み課題について講演する 松本氏



職場環境作りのアドバイスをする 大橋先生



受診する従業員



平成十四年度 定期健康診断及び特殊健康診断実施

下仁田町森林組合では全従業員（七十五名）を対象に毎年健康診断を行っている。これは労働基準法により雇用主は従業員に対して年一回健康診断を実施することになっている。

今回は十一月十五日に榛名荘病院の巡回車が来て四十名が受診した。

荒船の湯従業員は三月十日に同湯にて十四名が受診した。

この検診の内容は胸部X線検査など十二項目の検査を実施し有所見者には個別指導を行い再度産業医に行き健康管理等指導している。

十二月五日には林業・木材製造業労働災害防止協会主催のチェーンソー・刈払機等振動機械使用者の早期発見と予防のための特殊健康診断を二十八名が受診した。

杉ノ木加工センター事業紹介

間伐材の有効利用を考える。

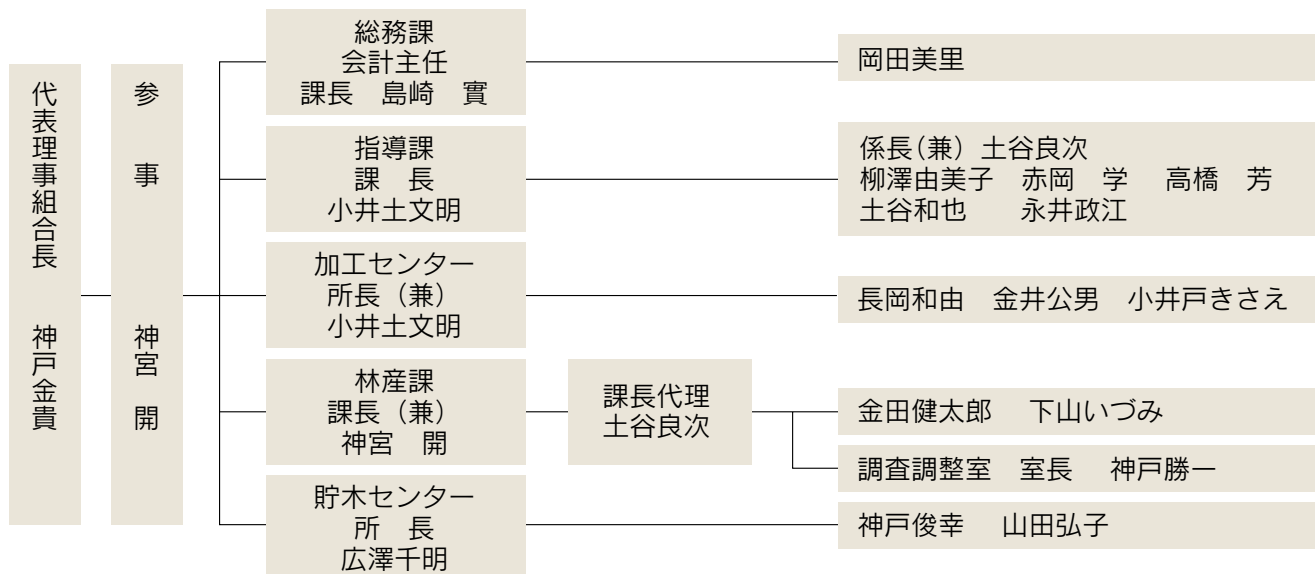
間伐材によるごみ収集ボックスを設置

杉ノ木加工センターでは、下仁田町より委託を受け、間伐材によるごみ収集ボックスを製作し、設置しました。規格は、長さ一八〇〇ミリ、高さ一二〇〇ミリ、奥行き七〇〇ミリの大きさで、桧材を丸棒に加工したものを使用、組み立てし、六基を小坂地区に設置しました。地元の人達より「きれいで冷たくなく、スチールより感じがよい」と好評です。



地元の人達に好評なごみ収集ボックス（大平地区）

【森林組合 運営機構図・役職員の配置図】



発行 2003年5月
 群馬県甘楽郡下仁田町大字下小坂4517
 〒370-2623
 TEL 0274(8)22306
 E-mail shimonia@snt-shinrin.or.jp

第29回素材入札結果表

平成15年4月4日

樹種	材長	規格	安値	高値	平均m ³ 単価	平均石単価
杉	3.00	14~16	11,890	11,890	11,890	3,300
〃	3.00	18~20	11,700	12,180	11,930	3,310
〃	3.00	22上	12,280	12,280	12,280	3,410
〃	3.65	16~24	12,200	14,000	13,100	3,640
〃	3.65	26上	12,890	14,110	13,490	3,750
〃	4.00	20下	12,250	13,360	12,810	3,560
〃	4.00	22~28	12,300	14,480	13,340	3,710
〃	4.00	30上	14,600	17,100	16,070	4,460
檜	3.00	14~16	22,500	22,500	22,500	6,250
〃	4.00	10~13	13,000	13,200	13,100	3,640
〃	4.00	14~16	20,000	26,500	24,240	6,730
〃	4.00	18~22	22,480	22,480	22,480	6,240
〃	4.00	24~26	22,000	22,000	22,000	6,110
〃	4.00	28上	33,000	41,500	37,250	10,350

入札参加者/18名 落札率/75.9%

市況

平成15年に入って6回目の入札が行われた。市況は相変わらず安値安定ペースで推移している。昨年の今時、柱材(3M)は荷動きがなかったが今年には安値ながらも荷動きはある。これから、どの市場も切り芯が悪くなるので、出荷量が減ると思われるので、多少の値動きがあると予想される。